

「NASDAQ100インバース指数」に内在する性質に関する注意点

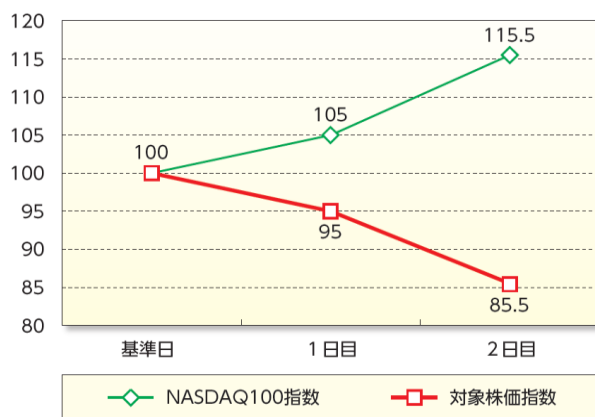
- 対象指標とする「NASDAQ100インバース指数」は原指標の「NASDAQ100指数」の変動率の「-1倍」（マイナス1倍）の値動きになる指数で、「NASDAQ100指数」の1日の変化率（前日終値と当日終値とを比較して算出）を「-1倍」したものを前日の指数値に乗じて算出されます。指標と原指標は完全な逆相関ではないため、複数日以上上の計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「NASDAQ100指数」の変動率の「-1倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「NASDAQ100指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「NASDAQ100指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逓減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逓減が強まる特性を持ちます。したがって、当ファンドは、一般的に中長期の投資には向かず、比較的短期間の投資に向く金融商品です。対象株価指数の値動きの特性については、下記もあわせてご参照ください。

対象株価指数の値動きについて

- 「対象株価指数」は、変動率が「NASDAQ100 指数」の日々の変動率の-1倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「NASDAQ100 指数」の-1倍となりますが、2日以上離れた日との比較においては、「NASDAQ100 指数」の変動率の「-1倍」になるわけではありません。

【例1】NASDAQ100指数が1日目に5%上昇し、2日目に10%上昇した場合

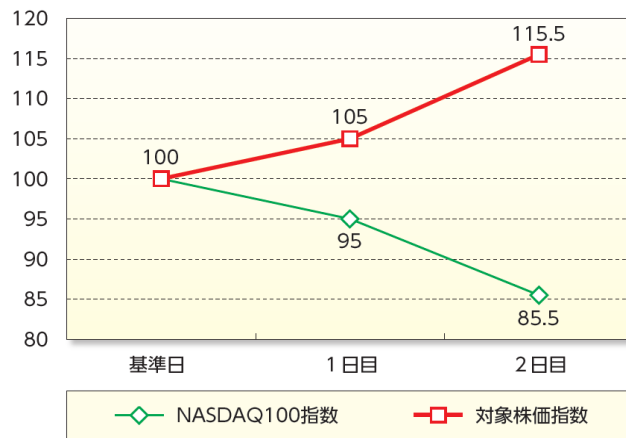
	基準日	1日目 (前日比)	2日目 (前日比)	2日目と 基準日の 比較
NASDAQ100指数	100	105 5%	115.5 10%	15.50%
対象株価指数	100	95 -5%	85.5 -10%	-14.50%



- ◆ 「2日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(85.5 - 100) \div 100 = -14.5\%$ であり、NASDAQ100指数の値動き $(115.5 - 100) \div 100 = 15.5\%$ の-1倍とはなっていません。

【例2】 NASDAQ100指数が1日目に5%下落し、2日目に10%下落した場合

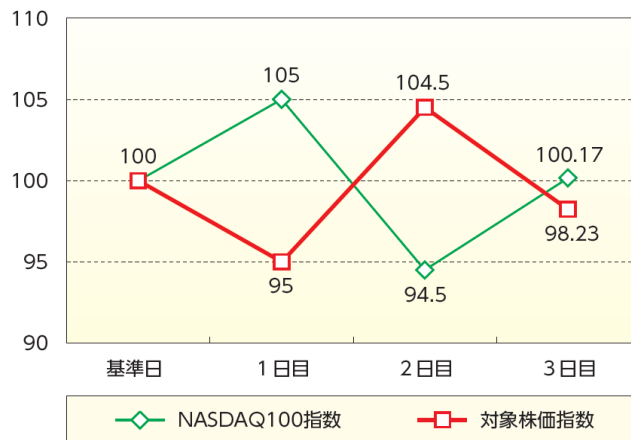
	基準日	1日目 (前日比)	2日目 (前日比)	2日目と基準日の比較
NASDAQ100指数	100	95 -5%	85.5 -10%	-14.50%
対象株価指数	100	105 5%	115.5 10%	15.50%



- ◆「2日目」と「基準日」とを比較し、
対象株価指数の値動きは $(115.5 - 100) \div 100 = 15.5\%$ であり、
NASDAQ100指数の値動き $(85.5 - 100) \div 100 = -14.5\%$ の-1倍とはなっていません。

【例3】 NASDAQ100指数が1日目に5%上昇し、2日目に10%下落し、3日目に6%上昇した場合

	基準日	1日目 (前日比)	2日目 (前日比)	3日目 (前日比)	3日目と基準日の比較
NASDAQ100指数	100	105 5%	94.5 -10%	100.17 6%	0.17%
対象株価指数	100	95 -5%	104.5 10%	98.23 -6%	-1.77%



- ◆「3日目」と「基準日」とを比較し、
対象株価指数の値動きは $(98.23 - 100) \div 100 = -1.77\%$ であり、
NASDAQ100指数の値動き $(100.17 - 100) \div 100 = 0.17\%$ の-1倍とはなっていません。

※上記は、対象株価指数の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し抽象化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。